

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ  
黒田 禎一郎

2024年1月14日（日）

主 題：「私は土の器です」  
—光の子—

テキスト：2テモテへの手紙 2章 20節

### はじめに

・おはようございます。

- ・聖書は、私たち人間は「土の器」とであると教えています。  
「器」とは、当然その中に何かを入れるものです。その入れ物である器は、昔はおもに「土製」が特徴です。
- ・「土の器」の特徴：
  - ① 壊れやすい（外部圧力に弱い）⇒人に少し言われただけでも壊れやすい
  - ② 器には造り主がいる（陶器師入る、思いのまま器を作る）
  - ③ 中に物を入れる（価値があるものを入れる）
- ・聖書は、私たちは陶器師である神の作品で、「土の器」であります。
- ・第2コリント人への手紙には、次のように述べています。  
4:7 私たちは、この宝を土の器の中に入れていますが、それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものではないことが明らかになるためです。
- ・ここに、心に覚えたい用語（単語）があります。
  - ① 「宝」
  - ② 「力」
  - ③ 「神のものである」
- ・今日、私たちは「土の器」である私たちについてみことばから考えてみましょう。 3点

### 大切なポイント

#### 1. 大きな家にある器

2:20 大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあります。ある物は尊いことに、ある物は卑しいことに用いられます。

2:21 ですから、だれでもこれらのことから離れて自分自身をきよめるなら、その人は尊いことに用いられる器となります。すなわち、聖なるものとき

れ、主人にとって役に立つもの、あらゆる良い働きに備えられたものとなるのです。

- ・ここで言う大きな家とは、キリストの教会を指します。そこにはさまざまな器があります。具体的には教会の構成員（メンバー）を指します。金や銀のような、尊いことに用いられる器もあります。しかし、卑しいことに用いられる、木や土の器もあります。
- ・卑しい器とは、偽教師のことです。私たちが尊いことに用いられたいと思うならば、偽教師との交わりから離れることです。つまり距離を置くことですね。パウロはこのように言いました。

2:21 ですから、だれでもこれらのことから離れて自分自身をきよめるなら、その人は尊いことに用いられる器となります。すなわち、聖なるものとされ、主人にとって役に立つもの、あらゆる良い働きに備えられたものとなるのです。

- ・そして、神に聖別された者として歩みを始めることです。そうすれば、あらゆる良いわざを行う、役に立つ器となれるのです。すなわち、「避けるべきこと」と、「求めるべきこと」を、はっきりと区別することです。
- ・判断力、識別力は、人の成長と比例します。人は子どもで幼い時には、子どもの視点で見て、判断力（識別力）を持つものです。しかし、成長し大人となるならば、さまざまな視点から見て判断力（識別力）が養われていきます。
- ・ところが、大人になっているはずなのに、まだそれに相応しい判断力（識別力）を持たない聖徒がいました。「土の器」には造り主（神）が「宝」と「力」を備えてくださるにもかかわらず、神である陶器師の作品となっていないのです。
- ・そこで、使徒パウロは勧告を出しました。

## 2. パウロの具体的な勧告

2:22 あなたは若いときの情欲を避け、きよい心で主を呼び求める人たちとともに、義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。

「若い時の情欲」とは、身体的な欲望ではありません。

### ① 自我の強さ

- ・人は誰でも正直に自分に向かうならば、自我（ego:エゴ）との戦いがあります。葛藤があります。そして時には、自分が嫌になることさえあります。自我との戦いは、時には欲望となります。

### ② 論争好きな性格

2:23 愚かで無知な議論は、それが争いのもとであることを知っているのですから、避けなさい。

2:24主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、よく教え、よく忍耐し、

2:25 反対する人たちを柔和に教え導きなさい。

- ・言葉を使っての争いは、意味がないことは明らかです。しかし、口を閉ざすことができないのです。ですから、激しい論争が起こるのです。これも欲望です。言葉の論争は無益です。

### ③ 性急な判断・野心

- ・若い時の失敗のひとつは、急いで判断してしまうことです。また危険度の高い野心を持つこともあります。後になって、もっと冷静に判断すべきであったと、反省することがあります。
- ・このように肉の性質を持つ私たちに、パウロは何を勧めたのでしょうか？  
⇒ 不義から離れなさい、情欲から離れなさい、でした。
- ・パウロは、私たちが追い求めるべきものは、義と信仰と愛であると教えました。それは神を追い求めることによって得ることができます。具体的には、神のみことばを通して、主との交わりを得ることができます。そこに神の御霊が働いてくださいます。
- ・聖書は、さらに具体的な生き方について勧めています。それが次のポイントです。

## 3. 光の子となりなさい

- ・パウロがテモテに、また教会の聖徒に求めたことは、光の子となることでした。それによって、偽の教えに対抗しなさい、というものです。肉の本性が衝突することは避けるべきです。神を求めなさい、と勧めました。
- ・すなわち、神からの祝福を願う者は、「避けるべきこと」と、「求めるべきこと」をしっかりと把握することが大切です。そこで、パウロはエペソの教会に、具体的な勧告を与えました。

### 1) 基本的な教え

2:24主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、よく教え、よく忍耐し、

2:25反対する人たちを柔和に教え導きなさい。

- ・主のしもべであるなら、基本的には争うべきではありません。それはキリスト者の基本です。しかし、人の本性はその逆です。聖書の勧めは次のようです。

## 2) 柔和な心で訓戒しなさい

2:24 主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、  
教え、よく忍耐し、

2:25 反対する人たちを柔和に教え導きなさい。

- 柔和な心とは、「優しさ」、「教える能力」、「忍耐」を持って、反対する人たちを訓戒すべきであるということです。

### {例 話} 沈黙の代価

- 私は先日、次のような話を耳にしました。米国でのことです。  
夫婦げんかをして、お互いに口をきかなくなった夫婦がいました。沈黙した状態が 1 週間も続きました。そして夫の方に困った事が起きてしまいました。
- 彼はシカゴに出張に行くことになり、午前 5 時に起床する必要がありました。彼は妻に起こしてもらおうと思ったのですが、自分の方から先に口をきくことはしたくありませんでした。そこで、紙に「明日の朝、5時に起こしてくれ」と書いて妻に渡しました。
- 翌朝、彼は驚いてベッドから飛び起きました。なんと 9 時になっていました。飛行機はすでに出ている時間です……。横を見ると、妻はすでに起床していました。
- 妻を問い詰めようとした時、彼はベッドのそばに一枚の紙切れがあるのを発見しました。そこにはこうありました。  
「5時ですよ。起きてください。」

- 皆さん。もうお分かりでしょうね。  
私たちが柔和に対処するなら、真実にもものを見ようとする人たちは、自らの過ちに気づいて、悔い改めに導かれるのです。もちろん、そこには神の主権があります。神の助けなくしては、それが起こることは不可能です。
- 私たちがもし、柔和に対処することができるならば、チャンスが到来するでしょう。パウロは次のように言いました。

2:25 反対する人たちを柔和に教え導きなさい。神は、彼らに悔い改めの心を与えて、真理を悟らせてくださるかもしれません。

2:26 悪魔に捕らえられて思いのままにされている人々でも、目を覚まして、その罠を逃れるかもしれません。

- 皆さん！ 言葉の争いは何も生み出しません。私たちは何をもって自らの伝道の武器としてきたでしょうか？ 偽りの教えに対しては、自らが「光の子」となり、清い器となって歩むことが、最大の武器となります。

- ・しかし、私たちにはそのような武器があるでしょうか？大変残念ながら、私たちには、柔和な心よりも、本来好まないはずの争いの心があります。
- ・では、どうすれば良いでしょうか？ ⇒  
イエス・キリストの前に出ることです。正直に、その弱さを告白して、祈ることで、そして自力ではどうすることもできない弱さ(罪)を、キリスト・イエスの御血によって洗い清めていただくことです。
- ・聖書：第一ヨハネの手紙1章
- 1:7 もし私たちが、神が光の中におられるように、光の中を歩んでいるなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血がすべての罪から私たちにきよめてくださいます。
- 1:8 もし自分には罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いており、私たちのうちに真理はありません。
- 1:9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちにすべての不義からきよめてくださいます。
- ・愛する皆さん！ここに神が与えてくださる救いがあります。それが「光の子」です。いかがでしょうか。私たちは、神の恵みと憐れみの中で、「光の子」として歩ませていただこうではありませんか。

## ま と め

主 題：「私は土の器です」

—光の子—

- ・今日、私たちは「土の器」であることを学びました。  
私たちは日々の生活の中で、誘惑に会い、偽りの教えに惑わされることがあります。実に壊れやすい、弱い「土の器」に過ぎません。私たちはどう生きれば良いでしょうか。
  - ・2:22 それで、あなたは、若い時の情欲を避け、きよい心で主を呼び求める人たちとともに、義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。
  - 2:23 愚かで無知な議論は、それが争いのもとであることを知っているのですから、避けなさい。
  - ・私は今日のメッセージを、次の2点に要約したいと思います。  
私たちは「土の器」として；
  - 1. 「避けるべきこと」を避ける
  - 2. 「求めるべきもの」を求める
- \* God bless you!